



佐賀大学公開講座 街角大学 2015
ファシリテーション学Ⅲ 実践編 (5回シリーズ)

ファシリテーション・スキルを使った組織活性のコツ

チーム（組織）が自ら動き出す 魔法のミーティング

佐賀大学がお届けする好評の公開講座「ファシリテーション学」。3年目の今年はより実践で使えるファシリテーション・スキルを学びます。テーマは「組織活性化」です。最新の組織変革の手法を体験するまたとないチャンスです。

Q. ミーティングをしっかりとしたのに、なぜチームは指示待ちなのか。どうして、動かないのか。

A. それは、チームリーダーがイノベーターとしてのファシリテーターになっていないからです。

ミーティングで意見を言わないメンバー、決まったことが実現されないプロジェクト、指示待ちで自ら考えないチーム。本講座は、これまでにそんな経験がありながらも、メンバーと達成感を味わいたいチームリーダーのための体験的なプログラムです。

この講義の メリットその1

対話型リーダーシップ・スキルを高めることができます。

この講義の メリットその2

ミーティングでメンバーが積極的に参加するためのヒントがあります。

この講義の メリットその3

メンバーがミーティングでの決定事項を自発的に行うための気づきにつながります。



この講義の 対象者

- ◎ 企業・組織において部下を持ち、成果を求められている方
- ◎ ファシリテーター・スキルを高めたい方
- ◎ プロジェクトリーダーを任されることがある人
- ◎ 起業家、NPO マネジャー

※ファシリテーションの知識がなくても第一回目に基礎の復習をしますので初めての方も安心です。

募集人数 20名（定員を超えた場合は昨年の受講生を優先します）
条件 基本的に5回すべての出席が可能な方
受講費 3,000円
会場 佐賀大学まちづくりサテライト ゆつつら〜と館
時間 18:30 ~ 20:30 21:00 ~ 情報交換交流会（希望者のみ）

第1回

11/19 (木)

「概論：ファシリテーションは組織を活性化するか」

ファシリテーションを活用するとどのような変化があるのかを実践を通じたケースを事例に、ファシリテーションの基本を復習します。また、「議論と対話」について、最新の合意形成の基本的なトレンドについて考察します。初めての方にも導入編としてファシリテーションを学ぶことができます。

講師：佐賀大学産学・地域連携機構 客員教授 大野博之（日本ファシリテーション協会会員）
国際協力NGOのプロジェクトマネージャーとして途上国での村落開発にて参加型開発を実施、事務局長として非営利組織の経営、ソーシャルアントレプレナーとして起業。行政、企業、非営利組織等にワークショップ・ファシリテーター、事業立案ファシリテーターとして業務受託。国際協力論、NPO経営論。

第2回

11/26 (木)

「課題抽出：問題・課題を我がコト化する」

問題や課題をチーム（組織）で解決するためには、チーム（組織）メンバーがその課題を他人事と考えず、自分自身の問題だと考える「我がコト化」が必要です。しかし、多くの場合、「業務命令だから」取り組むためにそうはなりません。誰かが解決する課題を、自分が解決しなければならない課題に意識を変える会議を学びます。対立を疑似体験するロールプレイ、課題共有のカードプレイを体験します。ファシリテーションを活用するとどのような変化があるのかを実践を通じたケースを事例に、ファシリテーションの基本を復習します。

講師：佐賀大学産学・地域連携機構 客員教授 大野博之（日本ファシリテーション協会会員）

第3回

12/3 (木)

「アイデア拡散：メンバーの意見をどんどん拡げる」

上司や声の大きな人の意見に黙り込むメンバー。自分の意見を過小評価するメンバー。どうせ何を言っても意見は反映されないとシラケたメンバー。でも、このメンバーの中にはまだ活用されていない素晴らしいアイデアが眠っています。それを掘り起こし、大きなアイデアに膨らませるスキルを体験します。集合知を生み出す目的の正統なワールド・カフェの手法を体験します。

講師：株式会社メタノイア 代表取締役 村岡康裕（日本ファシリテーション協会会員）
学生向け情報誌事業を経て、中小企業向けの管理系サポートサービス事業や大企業対象のキャリア系研修事業、上場企業の内部統制やオーナー系企業グループ資本再編等の経営企画系業務を行う。ライン・スタッフの両部門でマネジメントを経験。人と人の関係を見直すことで、組織のポテンシャルを引き出す支援をするために独立。経営コーチング、組織変革、事業承継などの経営支援業務と共に、企業研修やワークショップも手掛ける。東京大学工学部卒。佐賀市出身。

第4回

12/10 (木)

「企画研磨：アイデアを深掘し、実現可能性と参加意欲を高める」

メンバーが指示待ちで自発的に動かないのは、決定プロセスにおいて参画意識が持てないことも要因の一つです。いい意見が反映されない大きな理由は、ミーティングの進行が進行役（多くの場合上司）によって場がコントロールされているからです。自由な場で自律的にミーティングに参加できる環境をつくることで、参加メンバーは責任感と情熱を持つことができます。オープンスペース・テクノロジー（OST）という手法を体験します。

講師：株式会社メタノイア 代表取締役 村岡康裕（日本ファシリテーション協会会員）

第5回

12/17 (木)

「総括：発表、振り返り、最終講義」

オープンスペース・テクノロジー（OST）を体験していただいた参加者によるグループ発表を行います。また、第1回～第4回に体験したそれぞれのワークの意味と活用法、そして組織変革ワークショップ「ホールシステム・アプローチ」についての解説とまとめを行います。これにより実践的な手法の意義と本質をご理解いただけるものと思います。

講師：株式会社メタノイア 代表取締役 村岡康裕（日本ファシリテーション協会会員）

参加ご希望の方は、下記申し込み欄に必要事項をご記入いただき FAX または、メール、電話にてお申し込みください。

氏名	(ふりがな)	TEL/FAX	
住所	〒	E-mail	

<申し込み先>

佐賀大学社会連携課 公開講座担当係
TEL:0952-28-8958 / FAX:0952-28-8186
メール：chiikic@mail.admin.saga-u.ac.jp

<問い合わせ先>

五十嵐 勉（佐賀大学全学教育機構・教授）
TEL:0952-28-8732
メール：igarasht@cc.saga-u.ac.jp